

令和元年度

事業実績報告書
(総括)

社会福祉法人 泉寿会

特別養護老人ホーム・ケアハウスいずみ苑

令和元年度事業報告内容・総括

【 総 括 】

今年度の稼働率 97.5% (平成30年度より0.7%アップ)

平成31年4月に法人にて新入社職員が5名（介護職5名）入職しており、特別養護老人ホームいずみ苑には、2名介護職員が配置されております。

中途採用者は年度中に3名（ケアハウス職員1名、介護職員2名、サポートスタッフ1名）しております。

年度内の退職に関しては、ケアハウス1名、特別養護老人ホーム介護職員2名おりましたが、中途職員の採用もできており、職員不足にはならず職員体制は落ち着いております。

育児休業は2名の職員が使用しており、産・育児休業の取得率は100%となっております。育児休業による職員不足の対応としては、派遣職員を1名採用することで職員不足の解消しております。令和2年4月16日で1名育児休業が終了し現場復帰致しますので、3月末にて派遣職員1名を契約終了としています。

令和2年2月後半よりはコロナウイルス感染症の流行により、面会中止を実施しております。現在も面会中止は継続しており、入居者様の日頃のご様子が分かるように利用者様のご様子の記載した手紙と写真を月に1度ご家族に郵送しております。

感染症予防対策としては、職員の1日3回の検温（出勤前・出勤時・昼休憩前）、次亜塩素酸系消毒液の携帯用ボトルを全職員に配付、業者の立ち入り場所を玄関（風除室）までとし、業者の方にも検温を実施対応しております。現在のところいずみ苑にてコロナウイルスの発生状況は職員、入居者様ともに0件となっております。

利用者の受け入れに関して、緊急入所（相談が来てから2日以内の入所）は5件、独居等で警察に保護され、自宅に戻れないケースを2件対応しております。通常の受け入れはもちろんの事、困難ケースの利用者様は受け入れを拒まず、必ず受け入れる事で、千葉市、あんしんケアセンター（地域包括）、居宅介護支援事業所、病院からの信頼を得ることができ、その後の利用者様のご紹介につながっております。

【 ケアハウス総括 】

今年度の入居者状況ですが、介護が必要とされる入居者が増加しており通院回数が増えています。又、難病を持たれている入居者様も出てきており、受診等の対応は職員が行っております。送迎や病院内での付き添い行う事で、入居者様より安心して受診できるとの声が多く聞かれています。入居者様が安心して生活がおくれるように、支援していきながら、入居者様の状態に変化があった場合に法人全体で対応してまいります。

特別養護老人ホーム 小倉町いずみ苑

令和元年度事業報告内容・総括

【 稼働率 】

1) 令和元年度稼働率 96.3% 1日の平均利用者 57.8人

今年度は、独居高齢者、警察の保護者、あんしんケアセンター等からの緊急の入所依頼にも迅速な受入れを行いました。また、法人の施設間協力も多く、前年度と同様の稼働率を維持できました。

令和元年度の入退所状況としては、新規入所者25名。退所者が21名となっています。入院者は24名となっております。

【 特養総括 】

2) 施設全体で平均介護度が4.3となり介護度も高くなり介護量や医療ニーズも高くなりましたが、入居者が日々の生活を楽しんでもらえるように、レクリエーション、外出、料理会、趣味の教室も継続して行うことができました。

3) 職員の部分では、常勤職員の退職者は3名となっており、昨年に引き続き職員の出入りも少なく安定していました。介護職員も経験のある職員だけでなく、介護の経験がない職員の採用もあり、直ぐに介護の仕事を行うのではなく、サポート業務から仕事に入ってもらい、その人に合わせた業務形態や職員教育にも力を入れました。

4) 外部の関りとして、ボランティア、実習、地域、インターン、会食サービス、千城台高校介護体験講習等、多くの団体や地域との交流も行いました。

5) 外国人雇用として、ベトナム EPA、千葉県外国人留学生（ベトナム）の受入れにも取り組み、令和元年の12月にはベトナム EPA 面接会とベトナムの日本語学校の訪問を行いました。令和2年度からは、ベトナム EPA 2名獲得（ベトナム人候補生198人に対して求人884人の284施設が参加とかなりハードルの高いものでした）と千葉県外国人留学生2名の計4名の受け入れ予定となりました。千葉県外国人留学生2名は令和2年4月からの来日予定でしたが、コロナウイルスの関係で現在延期となっています。

外国人介護職員の受入れに伴い、外国人の文化、習慣等も含めて施設内外の勉強会も多く実施しました。

特別養護老人ホーム 第2いずみ苑

令和元年度事業報告内容・総括

【 上 半 期 】(平成31年4月～令和1年9月)

上半期平均稼働率=77.4%

入院が多数ある上半期でしたが、6/16よりショートユニット20床オープンに伴い、ショートステイの受け入れ人数を増やして、法人内の協力もあり稼働率が上昇しています。

6年目を迎え、ショートユニット開設に伴った職員の配置・態勢転換を行い、各ユニットの人員調整を行なっております。

【 下 半 期 】(令和1年10月～令和2年3月)

下半期平均稼働率=81.7%

下半期よりショートステイの入所者様も増え、稼働率は上昇しております。

今まで届かなかった半期で80%を超え、様々な入居者様にも柔軟に対応しております。3月に新型コロナウイルスが流行し、見学が難しくなり相談も減少しております。その中でもお花見や料理会を企画して、入居者様を守ると同時に楽しんで頂けるような介護を実践しております。

【 特 養 総 括 】

年度平均稼働率=79.6%

6/16にショートユニット開設をさせて頂き、長期利用数を含めた年間利用床数+3018床、年度平均稼働率+8.1ポイントとなりましたが、目標の年間平均稼働率84%には至っておりません。

背景として、8月から10月にかけての猛暑・台風・停電時期に、体調不良者と入院者が例年と比べ2倍以上増加した事。その影響による受入れ対応が一時的に崩れてしまった事が大きな要因として挙げられ、更に職員採用に関しても人員確保が厳しい状況が続いております。この現状だからこそ、各ユニット同士の連携が密になった事、台風・停電時を乗り越えた事で、団結力と非常時対応に対し強固になったと感じております。

その後、毎月会議内で体制の立て直しをすべく話し合いを重ね、現状でお受け出来る方を精査して対応しております。

資格取得に関しては、介護職員の成果が顕著に表れており、認知症介護実践リーダー研修修了者2名、介護福祉士実務者研修修了者5名、介護福祉士取得者が4名中4名合格と、特に中堅以上の職員がスキルアップを果たしました。

年度末より新型コロナウイルスの影響が徐々に広がり、ご相談者の減少や県外(東京都)からの新規入居者様の獲得を先送りにするなど、施設内外でも試行錯誤しておりました。

県や市、病院、各施設等と連携を取り、先ず最優先に入居者様をお守りできるような体制を整えております。

介護老人保健施設 いずみ苑リハビリケアセンター

令和元年度事業報告・総括

【 上 半 期 】(平成31年4月～令和 元年9月)

上半期平均稼働率：93.1%

入所：59名（ショートステイ含む）

退所：53名（ショートステイ含む）

退所先：入院：34名 自宅：0名（ショート含まず） 特養：21名

若葉区内の老健が7月中に閉鎖するという事で5月～7月にかけて9名の利用者の受け入れを行い稼働率アップに繋がりました。

【 下 半 期 】(令和 元年10月～令和 2年3月)

下半期平均稼働率：93.8%

入所：47名（ショートステイ含む）

退所：44名（ショートステイ含む）

退所先：入院：38名 自宅：4名（ショート含まず） 特養：16名

9月の台風での停電や10月の豪雨災害がありましたが、体調不良者、入院者を出すことなく援助することができました。又、災害を経験し災害対策を見つめ直すきっかけにもなり良い経験ができました。

【 総 括 】

年間平均稼働率：93.4%

平成31年度は、稼働率95%を目標にしましたが、93.4%とあと一步届きませんでした。

それでも、前年度83.2%より10.2%のアップとなりました。

入所・退所に関しては、居宅・あんしんケアセンター・泉中央病院・医療機関・いずみ苑・小倉町いずみ苑・第2いずみ苑・ケアハウスとの連携・協力によりスムーズに行えました。

又、入所の長期化が課題となっていたので、中間施設の役割として入所者様の次の行き先をご家族様に確認し、当法人以外の施設への移動ができる体制を作り、近隣施設との繋がりが築けた年となりました。他特養に12名の方が移動しました。その結果、退所先に

関しては、特養への移動が多かったです。在宅復帰は、4名の方が自宅へ戻られました。

平成31年度特養入所者数 はずみ苑6名 小倉町はずみ苑6名 第2はずみ苑13名
他特養12名（千寿苑1名 中野園2名 都苑5名
清和園1名 ローゼンヴィラ浜野1名）

例年以上に入退所の激しい年でしたが、職員で協力し合い、EPA職員の受け入れ、各種行事、料理会、外出等様々な活動を行うと共に、ボランティア、介護実習生の受け入れを行うことができました。

次年度も引き続き連携を取り、協力体制の強化、在宅復帰に向けての支援、中間施設としての役割に努めていきます。